

大学番号：080

事前伺い

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

鹿児島大学大学院 理工学研究科 総合理工学専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 鹿児島大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 理工学研究科等研究科・
工学系総務課総務係

職名・氏名 総務係長 ノベシヨウジ 野邊正志

電話番号 099-285-8215

（夜間） 099-285-8215

F A X 099-285-8225

e-mail syomu01@eng.kagoshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

理工学研究科

<総合理工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 鹿児島大学

(2) 大学名

鹿児島大学大学院

(3) 大学の位置

〒890-8580

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 (該当なし)

職名	設置時	変更状況	備考

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 総合理工学専攻 (博士後期課程) 博士(理学、工学、学術)	3年	24人	72人	基礎となる学部等 理学部 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	24 (-) [-]								0.62倍	
志願者数	16 (5) [2]	- (-) [-]								
受験者数	16 (5) [2]	- (-) [-]								
合格者数	16 (5) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	15 (5) [1]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	0.62									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 15	[-] (-) -	[] ()						
2年次	/		[] ()						
3年次			/		[] ()				
計	[1] (-) 15	[] ()			[] ()				

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤研究コース	先端科学特別講義	1・2・3前・後	1			6	7					兼 30 集中	
	専攻ゼミナール	1・2・3前・後				70	64					教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	特別演習 I	1前	2			70	64					教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	特別演習 II	2前	2			70	64					教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	特別実習	1・2・3前・後		2		70	64					集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	特別研修 I	1・2・3前・後		2		70	64					集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	特別研修 II	1・2・3前・後		2		70	64					集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	国際コミュニケーション海外研修	1・2・3前・後		4		2						集中	
	国内長期インターンシップ	1・2・3前・後		4		70	64					集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
	知的財産戦略構築実務論 (MOT関連科目)	1・2・3前・後		2		1						兼 1	
	技術経営と社会連携 (MOT関連科目)	1・2・3前・後		2		1						兼 2	
	応用数学特論 I	1前		2								兼 1	
	応用数学特論 II	1後		2		1	1					兼 1 専任教員(准教授)から非常勤講師に変更(28)	
	物質生産科学分野 専門科目	カオスとフラクタル特論	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(28)
		精密加工学特論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(28)
		トライボロジー特論	1後		2		1						
		電子デバイス特論	1後		2		1						
		微視的結晶成長プロセス工学	1後		2		1	1					担当教員退職に伴う担当者の変更(28)
		固体物性特論	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(28)
		非平衡統計力学特論	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(28)
高分子材料精密合成特論		1前		2		1							
量子物理学特論		未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(28)	
低温物理学特論		1後		2		1							
磁性物理学特論		未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(28)	
固体力学特論		未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(28)	
機械材料学特論		1後		2		1							
相変態特論		1後		2		1							
統計力学特論		1後		2			1						
生体機械工学特論	1前		2										
材料物性特論	1後		2			1					教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)		

基礎研究コース	物質生産科学分野 専門科目	高エネルギー材料工学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		計算物質科学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		固体物理特論	1前	2		1			
		Advanced Material Science and Production Engineering	未開講 1-2-3前	2	5	1			履修希望者がいなかったため(28) オムニバス
		並列処理システム	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		通信用LSI工学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		光情報処理特論	未開講 1前	2					兼 1 履修希望者がいなかったため(28)
		幾何学特論	1後	2		1			
		情報意味論特論	1後	2		1			
		基礎研究コース	システム情報科学分野 専門科目	量子化学特論	1前 未開講	2		1	
生理活性化合物合成特論	1前			2		1			履修希望者がいなかったため(28)
天然物構造機能特論	1後			2			1		
Advanced Topics in Topology	未開講								履修希望者がいなかったため(28)
位相数理特論	1前			2		1			履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
数理システム学特論	1後			2		1			
社会数理学特論	1後			2		1			
デジタル通信システム特論	1後			2			1		
複素解析学特論	1後			2			1		
表現論特論	未開講 1前			2			1		履修希望者がいなかったため(28)
ソフトウェア工学特論	1後			2			1		
情報システム信頼性特論	1後			2		1			
機械力学特論	1後			2		1			
Advanced Colloid Chemistry									教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
コロイド化学特論	1後			2			1		
動的システム工学特論	1後			2		1			
計測制御工学特論	1前			2			1		
デジタル制御システム特論	1後			2			1		
非線形システム制御特論	1後			2			1		
複雑系生体情報システム特論	1後			2			1		
生体機能制御化学特論	1後			2			1		
超伝導工学特論	未開講 1前			2			1		履修希望者がいなかったため(28)
数理代数学特論	未開講 1前			2			1		履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
解析学特論	未開講 1前			2			1		履修希望者がいなかったため(28)
複素代数幾何学特論	1後			2			1		教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
離散群論特論	1後			2			1		教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
Advanced System Information Science	1-2-3後			2		4	2		オムニバス
基礎研究コース	生命環境科学分野	発生細胞学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		環境鉱物学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		地球テクトニクス特論	未開講 1前	2			1		履修希望者がいなかったため(28)
		環境化学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		無機反応化学特論	未開講 1前	2			1		履修希望者がいなかったため(28)
		植物生態学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		水圏生態学特論	1後	2		1			
		行動進化学特論	未開講 1前	2			1		履修希望者がいなかったため(28)
		Advanced Phylogenetic Botany							教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
		植物系統学特論	1後	2			1		
細胞生理化学特論	1後	2			1				

基礎研究コース	専門科目	生命環境科学分野	ゲノム情報学特論	未開講 1前	2		1			兼 1 兼 1	履修希望者がいなかったため(28)
			陸域物質循環特論	1後	2		1				
			古脊椎動物学特論	1前	2	1					
			生命情報学特論	1後	2	1					
			火山堆積システム特論	1後	2						
			火山岩相解析特論	1後	2						
			災害地質学特論	1後	2		1				
			地殻構造特論	1後	2	1					
			地震学特論	1後	2	1					
			Earthquake Source Process								
	震源過程特論	1後	2		1		教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)				
	海洋水理学特論	1後	2	1							
	ライフサイクルデザイン	1後	2		1		教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)				
	都市デザイン特論	1後	2	1							
	地域計画学特論	1前	2		1		教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)				
	学際分野	星間物理学特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)			
		電波干渉計特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)			
		宇宙環境科学特論	1前・後	2				兼 1 集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)			
		宇宙環境計測特論	1前・後	2				兼 1 集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)			
		宇宙計量科学特論	1前・後	2				兼 1 集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)			
測地学特論		未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)				
Advanced Magneto-Science											
磁気科学特論		1後	2	1			教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)				
コンピュータビジョン特論		1後	2	1							
細胞分子機能特論		1後	2	1							
生物有機材料化学	1前・後	2				兼 1 集中					
生体高分子化学	1後	2	1								
生体分子親和機構論	1後	2	1								
先端科学技術コース	共通科目	先端科学特別講義	1・2・3前・後	1		6	7		兼 30 集中		
		専攻ゼミナール	1・2・3前・後			70	64			教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)	
		地域共同研究 I	1前 1・2・3前・後	2		70	64		72	59	集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)
		地域共同研究 II	2前 1・2・3前・後	2		70	64		72	59	集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)
		国際コミュニケーション海外研修	1・2・3前・後	4		2				集中	
		国内長期インターンシップ	1・2・3前・後	4		70	64		72	59	集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)
		知的財産戦略構築実務論 (MOT関連科目)	1・2・3前・後	2		1				兼 1	
		技術経営と社会連携 (MOT関連科目)	1・2・3前・後	2		1				兼 2	
		特別研修 II	1・2・3前・後	2		70	64		72	59	集中 教授の退職、准教授の担当資格取得者増加のため(28)
		専門科目	環境・エネルギー分野	流体機械特論	未開講 1前	2		1			
流動工学特論	未開講 1前			2		1				履修希望者がいなかったため(28)	
強相関電子デバイス工学特論	1後			2		1					
生体環境リスク基礎特論	未開講 1前			2		1				履修希望者がいなかったため(28)	

先端科学技術コース	環境・エネルギー分野	未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		分離工学特論 1後	2	1					教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		反応工学特論 1後	2		1				
		セラミックス工学特論	2			1			
		未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)
		機器分析特論 1後	2		1				
		伝熱工学特論 1後	2		1				
		流体計測制御特論 1後	2		1				教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		熱機関工学特論 1後	2	1					
		電気エネルギーシステム特論 1後	2	1					
		パワーエレクトロニクス特論 1後	2	1					
		未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)
		電磁エネルギー工学特論 1後	2		1				教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		環境設計特論 1後	2		1				
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
熱環境特論 1後	2	1							
海洋物理環境学特論	2	1							
未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)		
環境水理学特論 1後	2		1						
未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)		
土砂水理学特論 1後	2			1					
固体酸化物形燃料電池の材料科学	2						兼 1 集中		
先端科学技術コース	医療・福祉工学分野	未開講 1前	2	1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		生体電磁工学特論 1後	2						担当教員退職に伴う担当者の変更(28)
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		生体情報制御システム 1後	2		1				
		視覚工学特論	2			1			
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		視覚情報処理工学 1後	2	1					
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		神経情報工学 1後	2	1					
		聴覚情報処理特論 1後	2	1					
		情報計測システム工学 1後	2	1					
		未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)
		知能画像工学 1後	2						
		未開講 1前	2						履修希望者がいなかったため(28)
		人工知能特論 1後	2		1				
		未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)
		ロボット工学特論 1後	2		1				
生体運動制御特論	2		1						
先端科学技術コース	地域創生・安全工学分野	未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		構造設計特論Ⅰ 1後	2	1	2				
		構造設計特論Ⅱ 1後	2	1					
		構造モデルの動的応答と安定性 1後	2	1					
		構造形態創生特論 1後	2	1					
		未開講 1前	1		1				履修希望者がいなかったため(28)
		建築材料学特論 1後	1						
		未開講 1前	1		1				履修希望者がいなかったため(28)
		連続体の力学 1後	2	1	1				教育内容の充実を図るため、教員を追加(28)
		維持管理工学 1後	2	1	1				
		Advanced Concrete Technology 1後	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		建設材料学特論 1後	2	1					教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
		未開講 1前	2	1					履修希望者がいなかったため(28)
		コンクリート構造特論 1後	2	1					
		未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)
		海岸防災特論 1後	2		1				
		地盤環境工学特論 1後	2		1				
未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)		
地盤工学解析法 1後	2		1						
未開講 1前	2		1				履修希望者がいなかったため(28)		
構造力学特論 1後	2		1						
地域再生デザイン特論	2		1						

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{162} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費（該当なし）

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部								鹿児島市郡元1丁目21-30	※法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の外数
法政策学科	4	95		380	学士(法学)	1.06	平成9年度		
経済情報学科	4	145		580	学士(経済学)	1.02	平成9年度		
人文学科	4	155		620	学士(文学)	1.02	昭和54年度		
			3年次						
			10	20					
教育学部								鹿児島市郡元1丁目20-6	平成19年度に養護学校教員養成課程から名称変更
学校教育教員養成課程	4	225		900	学士(教育学)	1.01	平成9年度		
特別支援教育教員養成課程	4	15		60	学士(教育学)	1.00	昭和49年度		
生涯教育総合課程	4	35		140	学士(教育学)	1.05	平成9年度		
			3年次						
理学療法学専攻	4	20	5	90	学士(保健学)	1.00			
作業療法学専攻	4	20	5	90	学士(保健学)	1.00			
歯学部								鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	
歯学科	6	53		320	学士(歯学)	0.99	昭和52年度		
工学部								鹿児島市郡元1丁目21-40	※工学部編入学定員は学部全体の定員で外数
機械工学科	4	94		376	学士(工学)	1.03	昭和30年度		
電気電子工学科	4	78		312	学士(工学)	1.05	平成4年度		
建築学科	4	55		220	学士(工学)	1.10	昭和30年度		
環境化学プロセス工学科	4	35		140	学士(工学)	1.07	平成21年度		
海洋土木工学科	4	48		192	学士(工学)	1.02	平成4年度		
情報生体システム工学科	4	80		320	学士(工学)	1.07	平成21年度		
化学生命工学科	4	50		200	学士(工学)	1.04	平成21年度		
			3年次						
			20	40					
農学部								鹿児島市郡元1丁目21-24	平成28年度より学生募集停止 平成28年度より学生募集停止 平成28年度より学生募集停止 平成24年度より学生募集停止
農業生産科学科	4	75		75	学士(農学)	1.06	平成28年度		
食料生命科学科	4	70		70	学士(農学)	1.02	平成28年度		
農林環境科学科	4	60		60	学士(農学)	0.95	平成28年度		
生物生産学科	4	-		-	学士(農学)	-	平成2年度		
生物資源化学科	4	-		-	学士(農学)	-	平成2年度		
生物環境学科	4	-		-	学士(農学)	-	平成2年度		
獣医学科	6	-		-	学士(獣医学)	-	昭和24年度		

〔専門職学位課程〕									
司法政策研究科 法曹実務専攻	3	-	-	法務博士 (専門職)		平成16年度	鹿児島市郡元1丁目21 -30	平成27年度より学生募集停止	
臨床心理学研究科 臨床心理学専攻	2	15	30	臨床心理修 士(専門 職)	0.99	平成19年度	鹿児島市郡元1丁目21 -30		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 担当教員表 (該当なし)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
72	59	0	0	131	70	64	0	0	134	66	69	0	0	135
(70)	(64)	0	0	(134)						[△6]	[10]	[0]	[0]	[4]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
121	10	0			123	11	0			124	11	0		
(123)	(11)	0								[3]	[1]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況（該当なし）

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計（該当なし）

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」(該当なし)

--

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等（該当なし）

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時				
設置計画履行状況 調 査 時				
設置計画履行状況 調 査 時				
設置計画履行状況 調 査 時				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

＜理工学研究科 総合理工学専攻＞

(1) 設置計画変更事項等（該当なし）

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）（該当なし）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項（該当なし）

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成28年 9月 1日)